

ふるさと歴史アラカルト

岩国と『花燃ゆ』ゆかりの人物10 高杉晋作¹

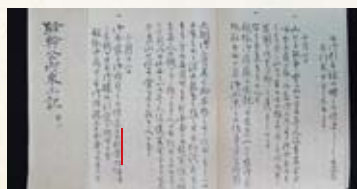
(1839～1867年)

今回は奇兵隊の創設者として知られる高杉晋作を紹介します。

高杉晋作は天保10(1839)年、萩藩士大組(200石)の高杉小忠太の長男として生まれました。安政4(1857)年に吉田松陰の松下村塾へ入って頭角をあらわし、久坂玄瑞とともに「松門の双壁」と称されています。翌5年、晋作は江戸へ遊学して昌平黌などで学んでいましたが、その頃、萩の野山獄にいた松陰が、江戸幕府の老中間部詮勝の要撃(暗殺)を計画していたため、時期尚早といさめる書状を久坂らと送りました。これに対し松陰は「僕は忠義をする積り、諸友は功業をなす積り(自分は忠義のために行動する。君たちは功績をたてたいだけだ)」と反論しています。その後、晋作が藩命により萩へ帰る途上、安政の大獄によつて松陰は江戸で処刑されました。文久2(1862)年、晋作は藩の許可を得て幕府使節の随行人として上海へ留学しました。このとき、アヘン戦

争後に中国が半植民地化していた実情を目にして、日本にも同様の危機があることを感じています。帰国後、久坂や赤禰武人などと攘夷活動(11月13日、武州金沢(神奈川県横浜)での公使襲撃未遂、12月12日、品川御殿山の英国公使館焼き討ち)を行い、翌3年6月、身分によらない軍隊である奇兵隊を結成して初代総督となりました。

文久3年、8月18日の政変によつて京都から排除された長州藩は、藩主毛利敬親による上京と弁明を計画し、10月に三支藩主(長府・徳山・清末)と岩国の吉川経幹を山口に召集しました。このとき、上京について慎重な考えを持つていた経幹は、持病を理由に欠席しています。そのため、10月22日、敬親の使者として晋作が岩国を訪れ、上京について協議したいので、山口へ出てくるよう伝えました。しかし、経幹は病状を理由にこれを辞退し、晋作から重ねて後日の約束を求められましたが、これも断っています。



▲『経幹公御東上記』にある高杉晋作が岩国を訪れた際の記録(赤線が高杉晋作)

岩国徴古館

昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

※1 吉田稔麿 入江九一を加え「松門四天王」ともいわれる

※2 昌平坂学問所

※3 同年9月、長州藩士の部隊と奇兵隊が衝突した教法寺事件の責任により罷免

※4 当時、藩府は山口へ移っていた

岩国市 人口・世帯

人口 140,479 人【前月比 - 148人】 男性 66,521 人 女性 73,958 人

世帯 66,497 世帯【前月比 - 61世帯】 ※外国人人口を含む(平成27年7月1日現在)

交通事故発生件数 6月分事故件数 49件(253件) 死者数 0人(1人) 傷者数 54人(289人)

※高速道路発生分を除く

※()内は平成27年累計

広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。テレホンサービス ☎231234

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、秘書広報課広報班へ ☎295016 FAX213337